

つなぐれ和泉っ子

令和4年11月30日

～人と社会と未来の自分～

和泉

12月号

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izu>

四季を味わう

校長 中澤 道則

今、本校のプール裏の畑には、個別支援学級の子も達が大切に育てているダイコンが青々と葉を茂らせています。このダイコン、去年もたくさんとれたので、その中の数本を最後まで育てて種を取りました。今年のダイコンはその種から育てたダイコンです。このダイコンは12月に2回、給食で提供することになっています。献立は「呉汁」と「豚ダイコン」です。ダイコン畑の横にはサツマイモ、そして個別支援学級の花壇にはブロッコリーも…。2年生も植木鉢に思い思いに自分の選んだ野菜を植えて育てています。このように、今、和泉小学校では秋から冬が旬の野菜がたくさん育っています。今は季節を問わず、いつでも色々な食材を食べることができるようになってきています。それでも、やはり旬の食材と言うのは本当に美味しいものです。この時期、四季の彩り豊かな日本の、四季折々の食材の味わいを楽しみたいものです。



個別支援学級の畑のダイコンとサツマイモ

さて、今年の暦もいよいよあと1枚。12月に入ります。あと3週間ちょっとで冬休みです。冬休みには子ども達が楽しみにしているクリスマスやお正月が待っています。お正月には食卓におせち料理や雑煮などが並ぶご家庭も多いのではないのでしょうか。お正月はぜひ日本の伝統食をたくさん味わってほしいと思います。そしてそんな日本の「食」に欠かせないのが「箸」です。箸の使い方にもいろいろなマナーがありますね。昔からよく言われる「やってはいけない箸の使い方」としては「さし箸」、「ねぶり箸」、「寄せ箸」、「わたし箸」、「迷い箸」等、いろいろなものがあります。中には私たち大人でも、気を付けていないとついやってしまいがちなものもあります。お正月はそんな日本の伝統文化に触れ、見直すよい機会にもなっているのだと思います。四季を味わい、日本の伝統文化に触れる、そんな冬休みになってくれたら、と思っています。

「味わう」と言っても、何も食べ物だけとは限りません。いずみ野駅から和泉小に向かう道すがら見える景色も秋の装いから冬へと移ろい、富士山もますます冴えわたってきました。その雄姿は日々、私達の目を楽しませてくれています。そんな四季折々の景色を楽しむのもまた、四季の味わい方なのでしょう。

寒さが厳しくなり、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの流行が危惧されるこの冬。今月も健康管理に気を付けながら、子ども達が豊かに学ぶことができるよう教職員一同、努めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、今年も本校教育活動にご理解、ご支援を賜り本当にありがとうございました。来年、令和5年も、引き続き宜しく願いいたします。少し早いですが年末のご挨拶とさせていただきます。よいお年を！